

土木工学科 32 回生卒業 30 周年同窓会 in 有馬

卒業 30 周年の同窓会を去る 11 月 1 日・2 日、有馬グランドホテルで開催しました。

30 周年と言えば、夫婦が真珠のように、30 年という年輪を美しく重ね、健康長寿で、若々しく暮らすことを願う「真珠婚」が思い出されます。健康長寿の先生方 6 名(川谷、森津、清水、宮本、福島、瀬良(敬称略))と、若々しい卒業生 37 名が、東は埼玉・千葉・東京、西は岡山から馳せ参じ盛大に執り行うことができました。

卒後 30 年という長い年月は、無残にも紅顔の美青年達を 50 歳代の中高年のオヤジに変身させ、「見たことがあるような誰だっけ?」、「体の細くして、頭を隠したら思い出してきたぞ!」という散々な状況でした。我々の子供も大学生なのだから、世代が一巡したと思えば仕方がないと無理やり納得しました。先生方からは温かい笑顔の中から、勉強しない我々の学年に手を焼いた話など遠い記憶をたどりながらの思い出話に華が咲き、30 年前にタイムスリップしたようで大いに師弟関係を深めることができました。

皆、会社では主要なポストを担い、ますますリーダーシップを発揮しています。我が国の景気も右肩上がりになってきていますので、このまま定年まで駆け抜けて行く勢いです。先生方におかれましても、頭脳明晰・血気盛んまだまだ「50 代の若者」には負けじと、グラス片手に昔取った杵柄で雄弁に語られ、宴会場が講堂に様変わりし唸らせるものがありました。宴会終了後は 2 次会の宴会部屋へ、次の日のゴルフ(8 名参加)があることも忘れて酔いつぶれ、景気回復を追い風にした建設業の発展と近況を語り合いました。

盆暮に三宮界限にて仲間内で宴会し、5 年毎に宿泊宴会を開催している 32 回生ですが、早くも次の 35 周年の「珊瑚婚」の再会を固く誓い合い、散会となりました。

(文責 古田 晴人)

